



市民活動の新たな挑戦

いろいろな悩みや不安、難題を抱える人たちを支え、問題解決に積極的に取り組む市民活動は各地ですそ野を広げている。ファイザー製薬ではヘルスケアの分野の市民活動を支援し、その社会的認知を高めることを目的に、2000年から助成プログラムをスタートさせた。過去の実績にとらわれず、活動のユニークさと将来性に評価の重点を置いているのが特徴。2001年度の助成対象となった各プロジェクト(左頁参照)を中心に、9回連続(今回は2回目)でレポートする。



「ひきこもりの人たちが抱えている問題を共感をもってシェアすることが大事」と語る小林さん(右)と松本さん。同じ体験者の立場から、お互いに語り合える場を通して「自分は一人ではない」という安心感を育んでいくことを活動の基本にしている。電話シェアリングでも体験者でわからない問題を理解し合うことで、心が開かれていく



「ひきこもり」者の抱える

さまざまな問題に共感をもってシェアする

日本アダルトチルドレン協会 ひきこもりサポートプロジェクト(東京都)

松本和子さんと小林伸樹さんは日本アダルトチルドレン協会のスタッフとして、子供時代に親がアルコール依存症であったり、親同士の憎しみ合いや暴力、あるいは親から一方的な価値観や期待を押しつけられて、自己否定感や自己認知の歪みから普通に生きることができなくなってしまう人たち(アダルトチルドレン=AC)の社会復帰を手助けする活動を行っている。その活動のなかで、最近、社会問題化している若者たちの「ひきこもり」とACの置かれた状況に共通した部分が多いことに気づき、そのためのサポートの必要性を痛感。この「ひきこもりサポートプロジェクト」を立ち上げた。



電話のほかに計画されているインターネットシェアリング。掲示板をとおして自由に語り合えるものにしてほしいと考えている

ひきこもりは幼少期の愛情不足や虐待、いじめの体験、親の期待に応えようとして心えきれずに押しつぶされたことなどがトラウマとなって、人との接触到恐怖感を覚えるようになるのが原因と言われている。松本さん自身、「10代の終わりから20代にかけて、親の期待に応えられない自分をダメな人間、必要のない人間と思いつんでひきこもりになりました」という。小林さんも、不登校とひきこもりから立ち直った体験者である。「今の社会はひきこもりに対して冷淡視する傾向が強いが、外に出ることが根本的な解決ではなく、本人が自己否定感などの認

知の歪みを修正してあげることが大切です。本人にとってそれは今を生きるために必要な行為なんです」と小林さん。「だから電話で話を聞くとときも、彼らの今の状態を肯定し、彼らが抱えている問題を共感をもってシェアすることが大事なんです」

電話シェアリングは聞き手がかつてのひきこもり体験者だと知ると、相手の言葉ががらりと変わるといふ。「共感してくれる相手がいることで彼らの心が開かれるし、シェアしている私たち自身も開かれていくんです」

プロジェクトとしては、こうした電話シェアリング、自由参加による出会いと語り合いの場であるオープンスピーカーズミーティングなどの活動のほか、ホームページによるインターネットミーティング、ひきこもり家族を対象とした連続講座を予定しており、将来的には本人や家族への訪問ヘルプにつなげていきたいという。

本当のことは手紙でしか書けない……。書くことで心を解き放ち

自己を回復するレターカウンセリング

ティーンズポスト 思春期の自立と精神保健を育むピアサポート(東京都)

東京国立郵便局私書箱11号、思春期相談室ティーンズポストの宛先である。ポストに届く手紙は月平均1000通以上、年1000通以上に及び、手紙

2001年度
助成対象プロジェクトの
団体名・活動内容・
主な活動地域

新規助成

1	札幌市ホームレス者の健康支援と実態調査 北海道のホームレス者の健康支援を行う医師・医学生会の会(札幌市)
2	障害児・者とその家族のための生活支援サービス促進事業 サポートハウスばお(埼玉県蓮田市)
3	暴力被害女性支援 自然派レストラン・喫茶Saya-Saya 事業 地域生活支援ネットワーク女性ネット Saya-Saya(東京都荒川区)
4	薬物依存症の青少年のためのケア事業 特定非営利活動法人セルフ・サポート研究所(東京都江東区)
5	障害児・者に対するダンスワークショップ 特定非営利活動法人ボーロニア協会(東京都江東区)
6	DV被害女性及び同伴子の緊急一時保護事業 FTCシェルター(東京都)
7	ひきこもりサポートプロジェクト 日本アダルトチルドレン協会(JACA) (東京都世田谷区)
8	山山介護支援事業 特定非営利活動法人自立支援センターがさとの会(東京都台東区)
9	思春期の自立と精神保健を育むピアサポート事業 ティーンズがさ(東京都町田市)
10	不登校の子ども達のための六浦共同生活生活体験合宿 特定非営利活動法人コンパスアカデミー(神奈川県横浜市)
11	横浜町「さなぎの家」 なんでもSOS班 特定非営利活動法人さなぎ達(神奈川県横浜市)
12	障害者の地域生活を支える民間レスパイト事業 エコピの会(愛知県名古屋市中)
13	釜ヶ崎地域における「終わりなき」生活支援事業 木曜夜まわりの会(大阪府大阪市)
14	拘留所に収監中の薬物依存者へのインタベンション・プログラム フリーダム(大阪府大阪市)
15	日本在住外国人のための医療支援事業 社団法人まづくり国際交流センター(奈良県橿原市)
16	不登校の子どもたちの健康と体力づくりを考える 神戸フリースクール(兵庫県神戸市)
17	高機能広汎性発達障害の子ども達のサポート事業 岡山県高機能広汎性発達障害児・者の親の会(岡山県岡山市)
18	10代の生と性を考える ドラマスクールin三原 みはらおやこ劇場(広島県三原市)

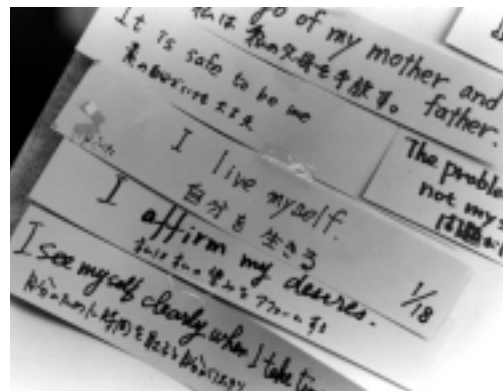
継続助成

19	ショッピングセンターの機能を生かした福祉サービス 特定非営利活動法人自立支援センターアピテ(青森県上北郡下田町)
20	チャイルドライン千葉 子ども電話 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター(千葉県千葉市)
21	川崎ホームレス保健プロジェクト 「冬を生きぬき、春を呼びこめ」 川崎水曜/土曜の会 (神奈川県川崎市)
22	中等教育を補う「コミュニティ・スクール」の実現をめざして 特定非営利活動法人リベラヒューマンサポート(静岡県三島市)
23	不登校児童・生徒の支援に係わるセミナー開催事業 特定非営利活動法人フレンヒューマンティ(兵庫県西宮市)
24	精神障害者のための「ついで」事業の普及と充実活動 障害を持ちながらも自立と納得いく社会参加を目指すふれあいセンター(沖縄県那覇市)



寄せられた手紙の内容に応じて、北海道から沖縄にいるカウンセラーに振り分け、書いてもらった返事を1週間以内に送り届ける活動を行っているスタッフ。レターカウンセラー養成講座もあり、3か月の体験講座を経て約2年にわたる養成期間と研修期間で構成されている

八巻さんがティーンズポストを開設して手紙によるレターカウンセリングを始めたのは一九九二年三月。寄せられた手紙は19人のレターカウンセラーが手分けして一週間以内に返事を書く。カウンセリ



「健康な思春期をおくれぬまま孤立し、成人期にまで問題を抱え込まないよう、全国どこからでも支えあうことのできるピアサポートめざしたい」と語る八巻香織代表。

には「死にたい」「つらい」「疲れた」といった言葉とともに、十代の若者たちの不安、悩み、苦しみ、怒りが、あるものは切々と、あるものは投げやり、あるいは捨て鉢な調子で書かれている。携帯電話やEメール全盛の時代に、なぜ若者たちは手紙を書くののだろうか。

「家族にも友だちにも言えない自分の本当の気持ちを、みんな誰かに知ってもらいたいと思ってるんです。だけどそれは携帯やメールでは伝えられない。手紙だから書けることなんです」とティーンズポスト代表の八巻香織さんは語る。

また事務所内には「スタジオ悠」というフリーミーティングスペースもある。「心に悩みを抱えている十代の子たちは家庭にも学校にも自分の居場所がないと感じている。それは物理的な空間というのではなく、いわば心の居場所の問題です。手紙という窓を通して彼らの悩みに耳を傾け、彼らが安心して心を開ける場所、自己を回復する場所を、これからもさまざまなかたちで提供していきたい」と八巻さんは、全国のティーンズにメッセージを送り続けている。

【ファイザープログラム】
心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援
2002年度 募集要項

1. 募集期間: 2002年7月1日～8月13日
2. 助成金: 1件あたり300万円を上限とし、本年度は15件程度の助成を予定しています
3. 助成の期間: 2003年1月1日～12月31日(1年間)とします
4. 対象となる分野: 特に次のようなプロジェクトを重視します。
 - 1) 成長過程にある人たちの心身のすこやかな発達を支援する活動
おもに10代が抱える問題を克服し生きる喜びをもつことを助けるもの
 - 2) 社会的な受け皿がないために保健・医療を受けられない人たちの心身のケアを支援する活動
外国人、路上生活者、PTSD(心的外傷後ストレス障害)などの人々を対象とするもの
 - 3) 障害をもつ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動
身体障害、知的障害、精神障害などの人々、難病、長期療養にある人たちの社会生活を豊かにするもの
5. 問い合わせ先: ファイザー製薬株式会社 企業文化部 03-3344-7524
応募要項はホームページからダウンロードできます <http://www.pfizer.co.jp>